

FREE

ご自由にお持ちください。

No.846
2024 March

3

岐阜県の森林・林業

もり 森林のたより



News of the forest



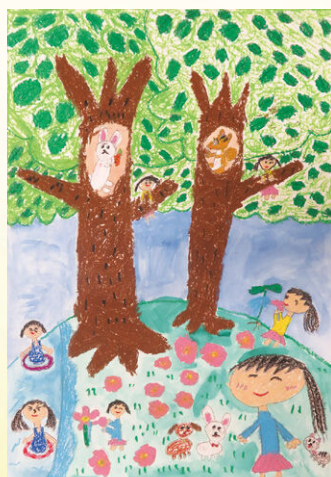
春の「緑の募金」にご協力を!

期間は3月1日から5月31日まで

令和5年度 岐阜県緑化運動ポスターコンクール入賞作品が決定しました!

最 優 秀

<小学校低学年の部>



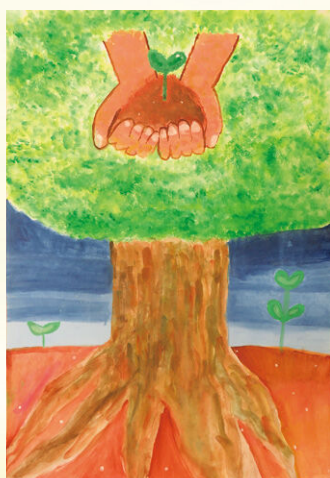
美濃加茂市立古井小学校2年
つかもと ひな
塚本 陽風 さん

<中学校の部>



大垣市立南中学校3年
くさの はやと
草野 隼人 さん

<小学校高学年の部>



大垣市立小野小学校6年
ながい あやか
長井 彩華 さん

<高等学校の部>



岐阜県立土岐紅陵高等学校3年
いとうがわ ひな
糸鼻川 姫奈 さん

●詳細は6ページをご覧ください



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

http://www.g-forestry.or.jp (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧いただけます。

開催日	行事名等	内容等	場所
			申込(問合せ)先/TEL
3月15日(金)~ 4月7日(日)	岐阜県緑化運動 ポスターコンクール 入賞作品 展示	令和5年度岐阜県緑化運動ポスターコンクール入賞作品52点について、ぎふ木遊館ギャラリーにて展示します。 【ぎふ木遊館の施設案内】 ●開館時間:10:00~17:00 ●入賞作品の観覧は、予約不要・料金無料 ※ただし、木育ひろばの利用は、事前予約制で入館料(大人300円、高校生以下無料)が別途必要 ●休館日:毎週水曜日(水曜日が祝日の場合は、翌平日)、施設点検日	ぎふ木遊館 (岐阜市学園町2-33)
			ぎふ木遊館 TEL:058-215-1515 森林活用推進課 TEL:058-272-8255
3月1日(金)~ 5月31日(金)	緑の募金(春期)	●「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに家庭募金、企業募金、職場募金などを行います。 4月7日(日)に岐阜市「道三まつり」で、岐阜市緑の募金委員会とともに街頭募金を行います。	JR 岐阜駅
			公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL:058-273-7577



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け) 2

「森林サービス産業推進特別セミナー」を開催しました 3

森林技術者の確保・育成・定着・安全対策 4

わが組合の頑張るフレッシュヤーズ【中濃森林組合】 5

令和5年度岐阜県緑化運動ポスターコンクール 6

入賞作品が決定しました! 6

岐阜県みどりの少年団活動発表大会を開催しました 7

シリーズ..「ぎふの木」使います!(6) 8

森林整備センターの水源林造成事業について 10

山の歳時記223 フサザケラ 11

山のおしやまむし(392) 11

ぎふ木遊館通信 12

morinos プログラム紹介!! 13

シリーズ..『森林・環境税』で、緑豊かな清流の国ぎふづくり(10) 14

森林と人を活かす知恵(134) 森林文化アカデミーの実務者向け
研修の取り組み 15

木の香るぎふの施設(132) 加子母森林組合白木製品仕上げ工場 16

研究コーナー 締固める機械によって盛土の硬さは変わるのか(2) 17

普及コーナー 恵那地域の獣害対策について 18

きのご通信(4) 19

国有林の現場から(89) 樹齢百年を越えるヒノキケヤキの混交林 20

林業者向けお知らせ 21

市況 22

「森林サービス産業 推進特別セミナー」 を開催しました

令和6年1月11日(木)に、岐阜県庁舎ミナモホールにて、岐阜県、ぎふ森のある暮らし推進協議会(以下「協議会」)の共催で「森林サービス産業推進特別セミナー」が開催され、300名以上が参加しました。

それぞれの発表に多くの質問があり、皆様の森林サービス産業への関心の高さが窺えました。

【基調講演】森林・林業における新たな価値創造の方向

基調講演として、林野庁の青山豊久長官にご講演いただきました。日本のこれまでの林業の歴史や、こ



れからの森林・林業が生み出す新たな価値として、非住宅の建築物への国産材の活用、Jークレジットの創出、森林サービス産業の推進等についてご説明いただきました。

【協議会取組み紹介】

協議会の山田俊行会長に、会の概要及び昨年1月の設立からこれまでの取組みをご紹介いただきました。



【森林サービス産業事例発表】

3者の協議会会員に、自らの取り組み

んでいる森林サービス産業事業について発表いただきました。株式会社山共代表取締役の田口房国様には、間伐直後の森林を活用した、森林レンタルサービス foresta(フォレストア)についてご説明いただきました。

株式会社長瀬土建代表取締役の長瀬雅彦様には、高山市久々野地域にある、舟山やあららぎ湖・位山といった、豊富な森林資源を活用したりトリート・ステイン飛騨高山の計画をご説明いただきました。

揖斐川町商工観光課長の高橋直樹様には、町のアウトドアの取組みとして、民間事業者と連携したローカルツーリズムや、今後の自走化の検

討についてご説明いただきました。

【今後の森林サービス産業の推進について】

県及び協議会では、県内の森林サービス産業を推進するため、セミナー・研修等の開催や、都市部へのイベント出展、会員が実施するプログラムの一体的なPRなど、様々な施策を実施予定です。

会員の募集は随時受け付けておりますので、ご興味のある方は左記までお問い合わせください。

詳しい内容を知りたい方は

TEL 058-272-8472

ぎふ森のある暮らし推進協議会事務局
(岐阜県森林活用推進課森林サービス産業支援係まで)

森林サービス産業 推進特別セミナー

参加
無料

豊かな価値を有する森林空間を健康、観光、教育等の多様な分野で活用することで、山村地域に新たな雇用と収入機会、関係人口を生み出す「森林サービス産業」を推進するため、県とぎふ森のある暮らし推進協議会では特別セミナーを開催します。

2024 1/11(木) 14:00-16:30
(13:30受付開始)

会場 | 岐阜県庁1階「ミナモホール」(岐阜市殿田2-1-1)

定員300人 申込フォーム▶
*メール・FAXでも申込可
(詳細は裏面をご確認ください)

要事前申込

プログラム

14:00~ 開会挨拶 岐阜県知事 古田 肇

14:05~ 基調講演 **森林・林業における新たな価値創造の方向**
講師 林野庁長官 青山 豊久氏

15:05~ 休憩

15:15~ **ぎふ森のある暮らし推進協議会 取組み紹介**
ぎふ森のある暮らし推進協議会 会長 山田 俊行氏

15:30~ **ぎふ森のある暮らし推進協議会 森林サービス産業事例発表**

株式会社山共 代表取締役	田口 房国氏
株式会社長瀬土建 代表取締役	長瀬 雅彦氏
揖斐川町商工観光課 課長	高橋 直樹氏

16:30 閉会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 主 催 | 岐阜県・ぎふ森のある暮らし推進協議会 清流の国ぎふ

確保・育成・定着・安全対策



森林技術者の確保・育成・定着は、第4期岐阜県森林づくり基本計画の施策の柱に掲げられており、目標値として令和8年度の計画終期までに森林技術者を1,140人に引き上げ、林業労働災害(木材生産量10万㎡当たり)発生件数を計画始期の1/2未満に引き下げる計画です。

これら目標を達成するために県が取り組んでいる施策を紹介します。

1 森林技術者の現状

林業の現場を担う森林技術者数は令和4年度は前年度から12人増加して928人になりました。10人以上増加することは、過去10年間になかったことです。

新規就業者数は令和3年度は91人、令和4年度は85人と、基本計画の目標値である80人は上回っていますが、離職者数が同人数程度あり、差し引き森林技術者数は930人前後で推移しています。

森林技術者数を増加させるためには1人でも多くの新規就業者を確保すること、離職者を1人でも減らすことです。この取組みの中核を担う

機関として平成30年度に設置したのが「森のジョブステーションぎふ」略称「森ジョブ」で、森ジョブが中心となつて森林技術者の確保・育成・定着に取り組んでいます。

2 令和5年度の施策

(1) 森林技術者の確保

森ジョブは厚生労働省から林業に特化した無料職業紹介事業の許可を受けて、ハローワークで就業相談会を開催したり、オンラインでの相談対応、県内外で開催される就業ガイダンスに参加して新規就業者の確保に努めています。森ジョブの就業相談件数は右肩上がりに増加しており、設置前(平成29年度)の132件から令和4年度には626件と約5倍に増加しています。

農林高校生には農林事務所が主体となつて林業の授業を企画したり、(一社)県森林施業協会に委託して地域の林業事業体でインターンシップを行っています。森林文化アカデミーの学生には林業に必要な知識や技術の習得に専念できるよう就業準備金を給付し、林業への就業を支援しています。

就業前の研修・見学事業として、国の「緑の雇用」事業のトライアル雇用(最大3カ月)以外に、森ジョブで就業希望者の意向に応じて林業事業体の説明や現地見学会を行う林業団体・見学ツアーを実施しています。

県外から移住して林業に就業した人には、居住地の市町村と連携して単身者には60万円、世帯者には100万円の移住支援金を給付しています。

新規就業者等の資格取得、安全装備品(ヘルメット、チェーンソー防護ズボン・ブーツなど)の購入経費を1/2補助する制度もあり、森ジョブが窓口となつて支援を行っています。

外国人材の活躍の検討については、国(厚生労働省)で技能実習制度の見直し等が検討されています。現段階で林業は1年の実習期間(在留期間)しか認められておらず、森林技術者の育成には3~5年の長期間を要することを考えると、林業に就業できる外国人材は在留資格を持つ外国人に限られます。県内でも何名かの外国人が森林技術者として活躍しており、他県では1人の外国人の参入が、友達をどんどん連れてきて外国人の作業班ができたという事例もあります。岐阜県も外国人が多く通う学校や、外国人の就業等を支援している団体と積極的に打ち合わせを行い、外国人就業の糸口を見い出せないかと試行錯誤しているところです。

(2) 森林技術者の育成

国の「緑の雇用」事業を活用することで新規就業者には3年間のフォレストワーカー研修、中堅以上の森林技術者にはフォレストリーダー研修、フォレストマネージャー研修と豊富な研修メニューが用意されています。

「緑の雇用」事業の対象にならない林業事業体には、県独自でOJT研修経費を支援する事業(旧きこり養成塾)があり、基本技術から伐採・搬出技術、技能向上研修を実施しています。

また、昭和51年度から行っている岐阜県林業士認定制度は今年度から新たに林業士長と林業士補の区分を設け、研修等を行いました。岐阜県林業士は令和3年度までに延べ1,640人を認定しており、さらに高度な知識と技術を持つ「林業士長」と林業士を目指す「林業士補」の3段階の資格制度を設けることで、森林技術者の意欲向上と、社会的・経済的地位の向上を図っています。

林業士長には来年度から森ジョブの研修講師で活躍いただき、森林技術者の憧れの存在となることを期待しています。

架線技術者の育成については、森林文化アカデミーが資格(林業架線作業主任者免許)取得に向けた講習会の実施等で支援を行っています。

(3) 起業支援

新たに造林・保育を行う林業事業体

を起業、または専門の部門を設置した林業事業体を対象に、森ジョブから自立支援金(最大54万円)と外部講師指導費(最大72万円)を補助する制度があります。起業や新たな部門を設置してから5年以内が対象期間です。該当する林業事業体は森ジョブへご相談ください。

また、令和5年度は新たに林業起業セミナー、自営業者・一人親方等との意見交換会を開催しました。

(4)安全対策

令和3年度から開始した林業労働災害レスキュー訓練を今年度から県全域に拡大して実施しました。11月には4年目となる伐木安全技術評議会を開催。昨年度に立ち上げた林業・木材製造業労働災害撲滅推進協議会は7月に講演会、2月には労働安全発表会を開催し、優秀発表を表彰しました。また、労働災害の情報収集及び再発防止策の周知・啓発、特別安全指導を実施しています。他にも林災防岐阜県支部による巡回指導、かかり木処理実技研修を行っています。

3 今後の課題

森ジョブが核になって森林技術者の確保・育成に取り組んでいます。離職者が多く、このままでは林業の担い手不足を解消することはできません。

課題を解決するためには岐阜県林業の魅力を増強し発信して就業希望者を増加させるとともに、森林技術者の定着支援対策を強化する必要があります。

また、森ジョブと森林文化アカデミーの連携を強化して人材育成、安全教育に取り組むとともに、木材生産量を拡大するため、水源地や地盤が脆い場所など林内路網を整備できない森林からも木材を搬出できる架線技術者の育成と架線集材機械の普及を図る必要があります。

基本計画の目標を達成するためには、令和8年度までの3年間で森林技術者数を200人増やさなければなりません。これはただの数字の増減ではありません。1人ひとりに生活があり、人生があり、森林技術者が1人増えるということは雇用者にとっても就業者にとっても大変なことです。

市町村でも森林環境譲与税を活用して各地域で特色ある担い手対策が講じられています。県としても令和7年度予算要求に向けてアイデアを募集中ですので、こういう施策があったらいいなと良いアイデアがありましたら、気軽にお知らせください。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL0581-27218491
森林経営課 担い手企画係まで

わが組合の頑張るマレツミヤーズ

【中濃森林組合】

亀田義博さん(二年目 埼玉・越谷市出身)
村井康祐さん(二年目 美濃市出身)



左から村井さん、長尾組合長さん、亀田さん

【就業のきっかけは?】

(亀田さん) 携帯でネットサーフィンをしていたときに偶然「森のジョブステーションぎふ」のサイトを見つけたことがきっかけです。

(村井さん) 2022年に職場体験で1ヶ月程お世話になり、優しく丁寧に教えて頂いた上、職場の雰囲気良かった事です。

【就業しての感想は?】

(亀田さん) 最初の3ヶ月は筋肉痛で階段を上がるのも大変でしたが、体もだいが慣れて仕事を楽しめるようになってきました。

(村井さん) 山で作業していく中で体力的にまだ疲れますが伐った後の山の開放感が良くやりがいがある仕事だと感じています。

【自信が付いた仕事は?】

(亀田さん) 現在、間伐を主に作業していますが、伐倒が思った通りにできることが増えてきました。

(村井さん) 地面よりかなり高い位置で最初は、草刈りをしていまし

たが先輩の熱いアドバイスがあり、地面スレスレで刈れる事が増えてきました。

【山へ行くの思い】

(亀田さん) ひとつひとつの作業を丁寧にこなすことが結果、地域の方々の環境にプラスになれたらと思っています。

(村井さん) 私達の身近にある川や水をきれいに保つ事や放置された山を伐り新しく植栽し、災害に強いきれいな山を作っていきたい。

【今後の抱負】

(亀田さん) もっと経験を積み、新人にあの人に聞いてみようと思われようになれればと思っています。

(村井さん) 作業も未熟で足を引っ張ってばかりなので早く仕事を覚えるためにも見て学びわからない事はしっかり質問し、安心して任せてもらえるようにしたいです。

【組合員からのエール】

常に森林作業技術の向上に努力し、仲間にも、そして組合員の方に頼られる技術者になって下さい。

【林業を志す人へのメッセージ】

豊かな森を守り、カーボンニュートラル社会の実現にいつしよに貢献しましょう。



●詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-3314011
「森のジョブステーションぎふ」まで

令和5年度 岐阜県緑化運動ポスターコンクール 入賞作品が決定しました!

県では、緑化の意義などを普及啓発するため、毎年、県内の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校及び高等専門学校の子供、生徒を対象に「岐阜県緑化運動ポスターコンクール（後援：岐阜県教育委員会、（公社）岐阜県緑化推進委員会）」を実施しています。

令和5年度は、415点の応募があり、審査の結果、入賞作品52点が決定しました。

なお、入賞作品は、令和6年3月15日（金）から令和6年4月7日（日）まで、ぎふ木遊館にて展示します。（開館時間等は2ページをご覧ください）

優 秀

小学校低学年の部



岐阜市立長良東小学校3年
しみず いろ
清水 彩路さん

小学校高学年の部



垂井町立表佐小学校5年
とみだ むつき
富田 睦生さん

中学校の部



岐阜市立藍川中学校3年
やまだ くれあ
山田 紅愛さん

高等学校の部



岐阜県立岐阜総合学園高等学校2年
ふるかわ なつき
古川 菜月さん



関市立旭ヶ丘小学校1年
やまと ふうが
山登 楓篤さん



高山市立東小学校4年
つづく すず
都竹 鈴さん



大垣市立東中学校2年
ひぐち めのう
樋口 恵濃さん



岐阜県立土岐紅陵高等学校3年
あんどう いろは
安藤 彩華さん

※最優秀作品は表紙に掲載しています

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8255 森林活用推進課緑化推進係まで

岐阜県みどりの少年団活動発表大会を開催しました。

令和6年1月20日（土）に森林文化アカデミー 森の情報センターにおいて、岐阜県及び公益社団法人岐阜県緑化推進委員会の主催による「令和5年度岐阜県みどりの少年団活動発表大会」を開催し、3団のみどりの少年団が1年間の活動成果を元元よく発表しました。

審査の結果、「付知南小学校みどりの少年団」が最優秀賞に選ばれました。

発表では、「私たちが引き継ぐ付知の森林（たからもの）」をテーマに森を知る「森林教室」、林業の仕事を知る「林業教室」や間伐体験などに取り組む「森と私たちの暮らしをつなぐ活動」、木育に取り組む「森や木と親しむ活動」を体系づけて紹介し、付知の人たちが受け継いできた木の文化を「たからもの」と思い引き継いで、自分たちができていることを表現できたこと、また「森や木と親しむ活動」では、木育をすべての学年で取り組んでいることが高く評価されました。

みどりの少年団の皆さんには、少年団活動を通じて新たな発見や驚きを共有し、森林や緑を愛し、守り、育てる心を大切に、団員みんなの力を合わせて楽しく活動に取り組んでほしいと思います。

発表少年団及び審査結果

- 最優秀賞 付知南小学校みどりの少年団（中津川市）
- 優秀賞 中野方小学校みどりの少年団（恵那市）
- 奨励賞 北方小学校みどりの少年団（揖斐川町）

このほか、大地組スクールみどりの少年団（多治見市）が参加されました。

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 田中敏隆】



付知南小学校みどりの少年団の発表



発表したみどりの少年団の皆さん（表彰式）



“ぎふの木”使います!

— 岐阜県木の国・山の国県産材利用促進協定締結者のご紹介 —



岐阜県では、「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づき、事業者が県と協定を締結し、県産材の利用を促進する構想の実現に向けて連携して取り組むことで、脱炭素社会の実現や循環型社会の形成、地域経済の活性化を目指しています。

令和5年7月27日に第1回目となる協定締結式を執り行い、15事業者（14協定）と協定を締結しました。その各協定締結者のご紹介シリーズ第6弾です。

西美濃農業協同組合（大垣市）



ホームページ <https://www.jan.or.jp>

<今までの取り組み内容>

JAにしみのでは、地産地消や地域農業・農地を守る取組を進めるとともに経営の効率化にも取り組んでいます。

令和3年度～令和4年度には6支店の建設を行い、岐阜県産材を活用し内装木質化を行いました。

木の特性を生かした和やかな室内は、支店を利用される組合員のよりどころとして親しまれております。

<今後の取り組み内容>

総合事業再編戦略に基づく支店統合・新支店等の建設に際して、県産材の利用促進を実施し組合員に喜ばれる施設づくりを進める予定です。

社会福祉法人フェニックス（各務原市）

ホームページ <https://phoenix-g.jp/>

<今後の取り組み内容>

社会福祉法人フェニックスでは、各務原市内にカフェ、放課後等デイサービス、地域交流センター、福祉施設等の新設を計画しており、その建築に当たっては、県産材を活用した木造建築または内装の木質化、備品、家具の導入を検討しています。

また、既存の建築物を改修する際にも、内装の木質化や備品、家具の導入等で岐阜県産材利用の促進を図ります。

多くの方に県産材の活用を知ってもらうため、ホームページや広報誌等にプロジェクトを掲載する際や、施設パンフレットを作成する際には岐阜県産材を利用した旨を記載します。



各協定者締結者には県産材の活用について積極的な普及啓発に努めていただきます。





森林整備センターの 水源林造成事業について

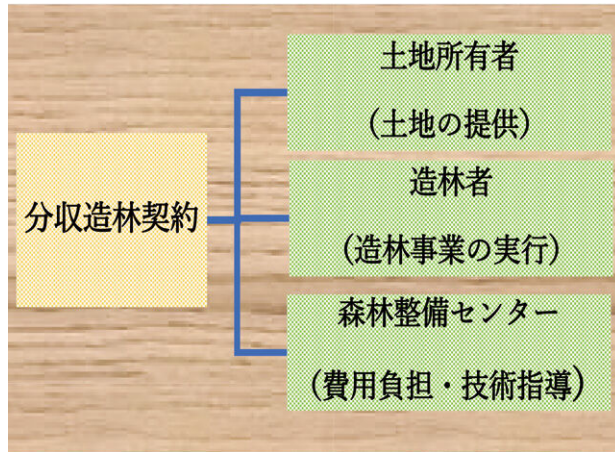
岐阜水源林整備事務所



水源林造成事業の 目的と仕組み

森林整備センターでは、ダムの上流域など水源涵養上重要な奥地水源地域のうち、土地所有者自身による森林整備が困難な木が少なく、生育が悪いなどの場所で水源を涵養するための森林の造成を行い、森林の有する公益的機能の維持増進を目的とする「水源林造成事業」を実施しています。

具体的には、奥地水源地域の民有保安林で、所有者の自助努力等によっては、適正な整備が見込めない箇所において、「分収造林契約方



式」により、①造林地所有者が土地を提供し、②造林者が植栽、植栽木の保育など労働力の提供と管理を行い、③森林整備センターが費用

の負担と技術指導等を行うことを三者(①が②が同一の場合は二者)で約定して水源林を造成する事業です。

この分収造林契約では、土地に地上権を設定することにより行政的なコントロールのもとで、適正な森林管理を長期間にわたり安定的に実施することができ

ます。また、都道府県を越える広範囲な流域において、国民生活に不可欠な水の安定供給や二酸化炭素の吸収等、森林の公益的機能の発揮に貢献する事業です。



水源林造成事業の取組

水源林造成事業は、昭和36年の事業開始以来、60年余にわたり全国の水源地域の造成・整備に取り組んで



水源林造成事業地 (本巢市)

きています。その実施面積は約49万ヘクタールであり、これは東京都と神奈川県を合わせた面積に相当します。造成した森林は年間約30億^mの水を育み、年間約9千万^mの土砂流出を防止するなど、貨幣換算可能なものだけでも年間約8千9百億円になります。





針広混交林（関市）

多様な森林づくり

かつては、戦後の荒廃した森林・山地の早期復旧・保全や、増大していた木材需要への対応のため、水源林造成事業についても集約的な森林施業を実施し、針葉樹主体の一斉林を造成してきました。しかし、現在では水源涵養機能などの一層の発揮はもとより「生物多様性の保全」や

「地球温暖化の防止」などの面からも貢献できるよう「針広混交林」や「育成複層林」等、多様な森林づくりを進めています。

また、将来の主伐時には、伐採を50年から80年程度までの数十年にわたり小面積に分散して実施し、公益的機能が長期にわたり発揮できるように取り組んでいます。

なお、植栽にあたっては、花粉の少ない苗木を積極的に確保する取組を推進しています。

岐阜県における水源林造成事業の取組み

岐阜水源林整備事務所では、昭和36年の着手以来、重要水源地域を対象に計画的に実施し、今日まで62年間に県内25市町村で約2万5千5百ヘクタールの

水源林を造成しています。



群状による育成複層林（美濃市）

育成複層林の推進について

森林整備センターでは、水源涵養や土砂の流出防止など森林の有する公益的機能を持続的かつ高度に発揮させるため、群状又は帯状の複数の樹冠相を有する育

成複層林の造成を積極的に実施しています。

複層林誘導伐は1/3(三段林)または1/2(二段林)程度を更新伐で実施し、初回に限りその費用や更新伐跡地の再造林の費用を森林整備センターで負担することから、収益を多く得ることができます。

また、育成複層林は30年(45年の間断期間をもつて主伐するので、その後の再造林の費用負担を分散することができます。

引き続き、森林整備センターでは育成複層林を推進すること、木材供給による森林資源の循環利用及び森林の有する多面的機能を継続的に発揮し、持続的な林業経営に寄与することで持続可能な社会の実現に努めていきます。



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

早春の林道を走る車窓から、紅紫色の花が特徴的なフサザクラを見つけました。

フサザクラ (*Euptelea polyantra*) は宮城、秋田県以南の本州、四国、九州の中北部の低山帯で、崩壊地や渓谷沿い、河川敷などで群落を形成するフサザクラ属の落葉高木です。パイオニア (先駆) 植物として崩壊地などに侵入し、水害などにあっても根元から萌芽して株を維持し続け

ます。

葉は比較的大きく幅広の卵形で先は尾状に尖り、長い葉柄があります。フサザクラの乾燥した葉には血圧降下作用のあるイソクエルチトリン、抗菌作用のあるユープレロシドなどを含み、夏に採取して乾燥させた葉は利尿効果のある薬草茶に利用されます。

フサザクラはシーボルトが『日本植物誌(1835)』でヨーロッパに紹介した樹木で、属名の *Euptelea* は、「良い、美しい」*eup* + 「ニレ(榆)」*ptelea* を意味しています。これはフサザクラの果実がニレの果実に似ており、花の様子がニレより美しいため付けられたのかもしれませんが。種小名の *polyantra* は雄しべが20本以上あることから「多数の雄しべ」を意味します。

フサザクラ科は世界に1属3種、日本には1属1種と貴重な樹種であり、カツラやヤマグルマ同様に原始的な特徴を残した「生きた化石」とも言える樹木です。サ

クラの名があるもののサクラの仲間ではなく、樹皮がヤマザクラに似ており、花が枝に房状に密生するため、「房桜、総桜」と記したのが名の由来です。

花は葉の展開に先立って咲き、花弁や萼は無く、葯は長さ7mmほどの線形で紅紫色、花糸は白い糸状で、柄のある紅紫色の雄しべを多数垂れ下げます。

ところで被子植物の約7割は、サクラやウメのように1つの花に雌しべと雄しべを持つ両性花で、これらは昆虫類に交配を頼る虫媒花に進化しています。しかしフサザクラは両性花であるにもかかわらず、被子植物進化の初期に現れた原始的な樹木であるためか、両性花の中では数少ない風媒花です。

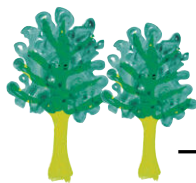
歌人であり、国文学者でもあり、『万葉集』の研究でも知られる土屋文明(1890-1990)は、「折りて来て一夜(ひとよ)おきたる



紅紫色の雄しべを房状に多数垂れ下げるフサザクラ

房桜(ふさざくら) うづだかきまで 花粉(はなこ) こぼしぬ」と大量の花粉を出す風媒花のフサザクラを詠んでいます。

木材としては今では見向きもされない状態ですが、弾力があるため舟の櫓(ろ)や櫂(かい)、建具、薪炭に利用されてきました。早春に山を彩るフサザクラ、是非、その価値を見直してもらいたいものです。



山のおじゃまむし



—ベトナム旅行、高齢者であることを再認識—【第392回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

本誌第 390 回でも書いたとおり、暮れから新年にかけ次女、三女家族とベトナム旅行へ出かけることになった。私が 81 歳になるからだという。しかし、娘たちからは「お父さんは何も口出ししないで、ついてくるだけにして」と釘をさされた。この一言で、私はベトナムのことを知ろうという気がなくなってしまった。ただ娘たちの言うとおりに動くだけで、気が楽であった。当日が来た。朝 5 時に名古屋空港へ向かった。次女家族は名古屋市なので空港へ来ていた。搭乗手続きに時間がかかり、出発したのは昼頃。飛行機は満席。こんなに人気があるのかと思った。行先はダナン市。当初は、ハノイ市にしていたが広いベトナムでは経費がかかるので、ここにしたとのこと。ホテルに着いたのは夜の 9 時過ぎ。少し休んで食堂へ。ここは食べ放題でいろいろなものがたくさん並んでいた。孫たちは大喜びで好きなものを食べていた。私もいろいろなものを口にしたが、どれもおいしかった。寝たのは 12 時過ぎだった。翌日。8 時朝食。夕食と同じものが並んでいた。この日はダナン市内を歩いて見て回った。まず驚いたのは大通りへでたらものすごい数のオートバイ、競うようにスピードを出しているのだ。さらに



驚いた。どのオートバイにも 4、5 人乗っているのだ。例えば運転手の後ろに大人が乗り、それぞれ子供を背負う。その前後を子供たちが乗っているが、時には 7 人というケースがあるのだから信じられない話だ。「警察は取り締まらないのですか」とガイドに尋ねた。「事故が起きないから必要ないですよ」。この一言であった。それ本当。これにも驚いた。

× × × ×

翌日からダナン市の周辺の観光地をたずねた。どこの住民も親切で感じがよかった。これがベトナム国民の人間性なのかと思った。しかし、史跡などには興味が湧かなかった。というより昨日 8 時間以上も歩いたので体がだるくなり歩くのがきつくなってきたからである。それで史跡見学の際はベンチなどで休んだ。このため史跡はほとんど見ていない。この時、これが 80 すぎの高齢者か。実感すると同時にさびしくなってきた。しかし、孫たちから「おじいちゃん大丈夫」と声をかけられた。これがうれしかった。まさに至福のひと時であった。あつという間に帰る日が来た。1 月 2 日。飛行機は飛び立った。この時日本の能登半島で大きな地震が起きたことを知った。しかし、詳しいことはわからなかった。帰宅後、日本ではどこのテレビも地震の被害地を映していた。母と子供 3 人を亡くした父親の悲しそうな顔。一人だけになった高齢者など、次々と映し出さ

れるので胸が痛んだ。家に届いている年賀状を整理した。ここでも悲しい現状。「高齢になったので、年賀状は今年で最後とします」というのが 50 枚以上あった。そういえば私の相手はほとんどが昆虫関係者。お互い年なんだなと昔のことを思い出し懐かしくなった。ベトナム旅行で高齢による体力、気力の低下を痛感。帰宅後も同じことがおおいので、いつまで元気でいられるか心配になってきた。さらに同級生 4 人が亡くなったとの連絡。やはり高齢者の宿命なのだと思ってしまった。

× × × ×

それともうひとつ。年が同じ某氏がいつ天国からお迎えが来てもおかしくないという病気になったこと。彼は健康そのものでとても 80 過ぎには見えなかった。まだ 10 年は元気だよと言うものもいた。その彼を病魔が襲ったのだから、これも高齢者の宿命。こんなことを思ってしまった。幸い天国は行かずにすんだ。今は奥さんの介護で生活しているが、早く回復してほしいと願っている。考えればベトナム旅行で体力、特に足が弱っていることを知り、これは高齢者の宿命だと感じたこと。その後、高齢者の友が亡くなったり、離れていったことなどが続いたので、私自身どうなるのだろうか。こんなことを考えるようになった。今は私自身へのベトナム旅行のお土産だと思っている。同時に苦しまずに天国へ行きたいと思うこともある。しばらくして元自然学総合研究所長（自然研）の M 氏が亡くなったとの連絡があった。前夜は元気だったのに、翌朝は眠っているような顔で亡くなっていたとのこと。皆から好かれていたので、神様がそうさせたのだろう。できたら私も -----。こんなことを思った。それにもう一つ。同じ自然研の A 氏が数か月も前に亡くなっていたとのこと。M 氏には誰にも知らせるなど言っていたらしい。変わり者だった A 氏らしい行動だと思った。

× × × ×

ベトナムから帰国して 2 か月近くになった。テレビでは連日北陸地方の大地震の被害状況を映している。むごい。いつ見ても思ってしまう。倒れた家のそばで途方に暮れている老人。家族はすべて亡くなり残ったのは私一人だという。「私と家族が入れ替わればよかった」と、目頭をおさえてみえた。歳は私と同じくらい。よけい気の毒に思えてきた。また、母親一人で娘 3 人を育てているある女性。末っ子が犠牲になった。今年から 1 年生になるので、着物姿で記念写真を撮っていた。その写真を手にして涙を流していた。このような話が次々と出てくるので、本当に大きな地震。まさに大々大地震だったのだと改めて思った。今までは、正月が過ぎると 1 か月はだらだらと生活していた。しかし、今年はいろいろあったなと思ってしまった。





ぎふ木遊館通信



赤ちゃんひろばに新しいおもちゃが仲間入り!

0歳、1歳の赤ちゃんとその保護者専用のエリア「赤ちゃんひろば」に新しいおもちゃが仲間入りしました。仲間入りしたおもちゃはクーゲルバーンです。木育ひろばに当初から設置してあるクーゲルバーンより小さく、赤ちゃんたちが遊びやすい設計となっています。木玉を上から転がすと、コロコロとレールを転がり、最後に「どんぐりころころ」の音楽を奏でます。大きなお子さんが時には走り回るにぎやかな木育ひろばと違い、落ち着いてクーゲルバーンの音や動きを楽しむことができます。遊びに来た親子は「クーゲルバーンでゆっくりと遊ぶことができるので嬉しいです。また、音が心地良くて癒されます。」とおっしゃっていました。



赤ちゃんひろばのクーゲルバーン



どんぐりころころのメロディが流れる木琴



クーゲルバーンで遊ぶ様子

「鬼めくり」ご存じですか?

「鬼めくり」とは、中津川市加子母や下呂市に古くから伝わる魔除けの風習です。節分の日、鬼の侵入を防ぎ健康と安全を祈り、「鬼札」と呼ばれるお札を家の玄関や戸口に貼ります。鬼札は鬼の顔と13個の点を書いて、一番下に一筆書きの星を書きます。家にやってきて鬼札を見た鬼は、手足の指が3本ずつで合わせて12本しかないのに、鬼札に書かれた13個の点を数えられず、さらに鬼は一筆書きの星を見て、どこから書き始めたのか描き方に迷い混乱し、逃げていくそうです。そして節分の日、子どもたちが町内を回り、その鬼札をめくっていくことで厄も取り払うことになるそうです。来館した皆さんに、鬼めくりを体験していただくために、鬼めくりコーナーを設置し、鬼札を書いて持ち帰っていただきました。岐阜県に根付く季節の行事を楽しんでいただくことができました。



鬼めくりコーナー



鬼札



鬼札かいてみようのコーナー

ぎふ木遊館公式Instagramのご紹介

ぎふ木遊館で行われる木育プログラムやイベント情報、館内の様子や木のおもちゃの話等を公式Instagramにて発信しております！
まだ来館したことがない方も当館の様子がわかりますので、ぜひチェックして、フォローお願いします。



GIFUMOKUYUKAN0717



やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介！！

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！

<親子で楽しむ お櫃作り&漆塗り体験>

morinosでは、森に親しむ入口となる様々なプログラムを開催しています。

今回は講師に、各務原市で曲物工房を開いている清水貴康さんと、美濃市で漆芸工房を開いている古田一さんをお招きし、普段では体験できないちょっと贅沢なワークショップを開催しました。

前半は、清水さんの指導でお櫃づくりを行いました。お櫃は炊いたご飯を保存しておく木製容器です。清水さん自身の自己紹介と「曲げ物とは何か」「製作工程」のレクチャーをしていただいた後、いよいよ作業開始です。

時間の都合もあり、今回は予め材料のヒノキを曲げて止めるところまで準備していただいたものに、「カンバ編み」と呼ばれるヤマザクラの皮を使って綴じる工程から行いました。ヤマザクラの皮を小刀で薄く削り、本体と蓋を編み、次に底板と天板を、木槌を使って慎重に打ち込んでいきます。最後にそれを木釘で固定したら完成です。



お櫃を作る前に「曲木（まげぎ）」という技法を体験しました。



ヤマザクラの皮を薄く削ります。これがなかなか難しい…。



自分のお櫃を持って記念撮影。この後に漆を塗ります。

昼食後の後半は、漆を使った仕上げの塗装です。最初に古田さんから漆塗りの歴史や、漆の特徴についてミニレクチャーをしていただき、その後作業に入ります。今回は「摺り漆塗り」という、直接木地に生漆を塗り、ふき取るというシンプルな技法を体験しました。人毛を使っているという、漆塗り専用の刷毛を使って塗っていき、乾く前にしっかりとふき取ります。



古田さんからのミニレクチャー。



お櫃に漆を塗っていきます。



漆を塗る前より木目がはっきり。

漆を塗ることにより、独特のつやが出ることや、塗る前よりも木目がはっきりと見えてくることに驚きながら、親子それぞれ夢中になって漆塗りを楽しんでいました。

今回のプログラムは、曲げ物や漆器といった、普段は体験することのできない伝統工芸品の技を体験できる良い機会となったのではないのでしょうか。また、お子さんの中には初めてお櫃を知ったという子も、居たことと思います。今回の体験が新たな発見や伝統工芸品への興味へとつながってくれることを願っています。

morinos HPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開館時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

10

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取り組みを行っています。こうした取り組みの内容について連載で紹介します。

生態系保全団体支援事業(令和6年度募集)

農業生産性の追求による整備の進展や外来種の侵入、耕作放棄による農地の荒廃など様々な要因により、里地里川の生態系は近年崩れつつあります。

このため、岐阜県では、里地里川の生態系を復活するモデル的取り組みを実施する団体を支援するため下記のとおり事業提案を募集します。

募集の内容

事業の概要

- 水田魚道の設置や水路におけるワンドなど生態系に配慮した農業用施設の整備
- 生態系保全のための河川、水路等の維持管理
- 外来種の駆除、放流防止活動
- 遊休農地の復旧、活用
- 生態系保全のための調査
- 生態系保全団体支援事業募集要領別紙2の加算活動項目に定める活動
- その他里地里川における生態系保全に資する活動

応募対象団体

県内に活動拠点を置く以下の団体

- 特定非営利活動法人
- ボランティア活動等の社会貢献活動を行う営利を目的としない団体等
- 地域住民が中心となって保全活動等を行う組織
- 大学、短期大学、専門学校、高等学校に在籍する学生とその学校の教員(常勤)で構成する団体(任意グループでも可)、(学生3名以上かつ教員1名以上で構成されていること)

補助率

10/10(上限:2,000千円/団体)

応募方法

生態系保全団体支援事業募集要領により事業実施提案書を作成し、活動を実施する市町村を所管する県農林事務所へ提出してください。

募集期間

令和6年2月21日(水)から令和6年3月22日(金)まで。

R5年度
実施団体活動事例

※詳細は岐阜県ホームページをご確認ください。 <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/132577.html>

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線(4178) 農村振興課 農村支援係まで

森林文化アカデミーの

実務者向け研修の取り組み

～専門技術者研修(木造建築技術者向け)について～

岐阜県立森林文化アカデミー 教授 ● 小原 勝彦

●はじめに

森林文化アカデミーでは実務者向けの研修「専門技術者研修」を行っています。その木造建築技術者向けの研修として、大きく3つの研修を行っています。

●許容応力度計算演習

現在、木造建築の構造設計を担える人材が少ない状況であり、構造的な判断に戸惑う設計士さんも非常に多いため、簡易な構造計算を学ぶ研修として、「①許容応力度計算演習」を実施しています。

2階建て木造住宅のモデルプランを通じて、木造建築の許容応力度計算を手計算で演習します。木造建築の許容応力度計算の流れを知ることが目的の研修です。

●構造性能検討ツール演習

構造検討を難解と思われる設計士さんも非常に多いため、構造性能を手軽に検討することを学ぶ研修として、「②木造建築構造性能ツール演習」を実施しています。

参加者の皆さんが持参したノートパソコンで木造建築の性能を検討する演習を行います。パソコンを利用することで、木造建築の性能検討を比較的容易にできるようにすることが目的の研修です。近年ではWall Stat Studioを利用した解析を行い、講習会にてその発表報告をする内容です。

木材や木造建築について就業先の業務を超えた広域的な学びの機会をつくるのが難しい状況であるため、木材や木造建築に関して先導的な情報や、川上・川中・川下からエンドユーザーまでに関する幅広い知識を得る研修として、「③これから木造建築構造を考

●これからの木造建築構造を考える

える」を実施しています。木造建築の現状について情報共有し、これからの木造建築のあり方について考えることを目的とする研修です。「木造建築や木材に関わるパネラー」による話題提供の後、意見交換会を行う内容です。県内外、場合によっては海外からパネラーをお招きしています(表1)。主なテーマは、プレカット、輸出、耐震性、建築振動、中大規模木造、土木利用、改修・移築、改正法対応、などとしています。

●今後の展開

林業や木材、木造建築分野の企業や教育機関・研究機関・行政機関と連携した研修(例えば、現場視察等)や、県有施設を利用した研修(例えば、実験視察)の他、海外組織とリンクした研修実施を考えています。しかし、10年ほど前からいろいろなおことを試行的に実施し始めているところですが、開催時期や予算、手続き等の課題があり、体系的な実施には至っていません。

専門技術者研修は、アカデミー学生にとっても卒業後にも学び続けることができる機会になります。専門知識や技術について継続的な向上ができる人材育成をアカデミーが担っていきたくと考えています。

表1 近年の専門技術者研修テーマ

研修テーマ	講師(所属)
◆木造建築耐震セミナー「許容応力度計算演習」	福本 満夫氏(福・木構造設計- 代表)、小原 勝彦(岐阜県立森林文化アカデミー)
◆木造建築構造性能検討ツール演習	森本 豊茂氏、小原 勝彦(岐阜県立森林文化アカデミー)
◆これからの木造建築構造を考える(主なもの以下に示す。)	
韓国における木材輸出取組と木造住宅の設計・施工の問題点	園田 真吾氏(都築木材株式会社 松本支店長)
改正法における木構造で対応すべきこと～岐阜県産ヒノキ横架材デジタルスパン表～	小原 勝彦(岐阜県立森林文化アカデミー)
非住宅施設の木造化にかかる低コストマニュアル・事例集について	河本 和義氏(NPO法人WOODAC 代表理事・TE-DOK一級建築士事務所 主宰) 塩田 佳子氏(NPO法人WOODAC 理事・スタジオすうぶ一級建築士事務所 主宰)
建築設計から関わる木材輸出	川添 英司氏(ゆうぼく人 代表)
木材・木質材料の土木利用の現状と課題	佐々木 貴信氏(北海道大学大学院 農学研究院 木材工学研究室 教授)
木材の特性と木質構造物の耐久性	澤田 圭氏(北海道大学大学院 農学研究院 木材工学研究室 講師)
中大規模木造建築の現状と今後	栗村 晋規氏(後藤木材株式会社 取締役)、福本 満夫氏(福・木構造設計- 代表)
WallStatについて	中川 貴文氏(京都大学 准教授)
韓国での木造建築再定着に寄与する軸組構法輸出戦略の提言及び検証	黒井 博美氏(モックウ江舎 代表)
韓国での木造建築技術について	キム・ビョンファン氏(韓国 GE-Group 代表)
岐阜県博物館「旧宮川家住宅保存活用計画」策定と旧徳山村移築民家について	南本 有紀氏(岐阜県博物館)

加子母森林組合木製品仕上工場

岐阜県中津川市加子母4873-2



施設全景

● 施設の概要

事業年度	令和4年度(令和5年度へ繰越)
事業主体	加子母森林組合
構造 延床面積	木造 149㎡
施設用途	木製品仕上げ
木材使用量 使用樹種	21.9351㎡ ヒノキ、スギ
全体事業費	22,000千円
助成額	10,000千円(県産材需要拡大施設等整備事業)
設計者	株式会社辰喜建築工芸
施工業者	株式会社辰喜建築工芸
工期	令和5年1月5日～令和5年5月23日



関係者を招いて竣工式

施設の経緯

加子母森林組合では、間伐促進と間伐材の有効利用の為、平成3年より木工事業を開始し、平成7年には木工所と木工体験施設を建設し事業拡大を進めてまいりました。近年では保育園家具をはじめ様々な木製品の受注が多く頂けるようになりました。一方、この地域の木工事業者の高齢化や後継者不足などにより、木工産業の弱体化が進んでいます。当組合では、こうした問題の改善に少しでもお役に立てるよう、木工技術者の雇用拡大や育成を推進する為、本工場を建設しました。



ここに注目!!

新技術を活用した広々とした空間!

新技術、複合梁(充腹梁)による柱の無い広い空間が特徴です。

施設用途

この工場では、保育園家具などの木製品組立や塗装仕上げ等を行います。

■問い合わせ先
加子母森林組合 加工課
TEL 0573-79-3333

締固める機械によって

盛土の硬さは変わるのか(2)

機械質量の異なる2種類の標準バケットホウでの比較

森林研究所 ● 和多田友宏

はじめに

切土や盛土などの「土構造」を基本とする森林作業道では、崩れにくい路体にするため、盛土を締固めて硬くすることが重要です。

岐阜県森林作業道作設指針(以下、指針とする)において、締固め作業1工程分(以下、1層とする)の厚さは0.3m程度とされています。

森林のたより第813号(2021年6月)では、締固める機械をバケット容量山積0.09m³の小型バケットホウとバケット容量山積0.28m³の標準バケットホウの2種類で比較した結果から、小型バケットホウで締固める場合、1層の敷均し厚さは0.3mでは十分な締固めが出来ていないことを紹介しました。今回は、機械質量の異なる2種類の標準バケットホウで締固めを行い、盛土の硬さの比較を行いました。

試験方法

試験は、平坦な地盤を掘り下げて作

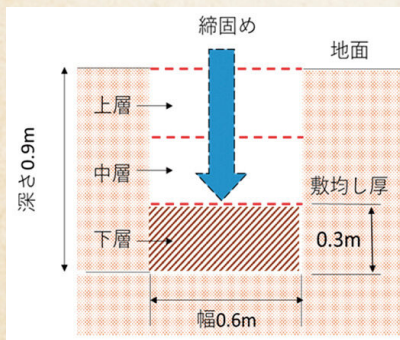


図-1 試験の模式図
(1層の厚さを0.3m程度で締固めの例)

成した溝(深さ約0.9m、幅約0.6m、長さ約3.0m)に土を敷均して、それを締固める作業を森林作業道の盛土の締固め作業と想定して実施しました。また、1層の厚さは0.9m程度のもものと0.3m程度のももの(図-1)の2種類としました。敷均しには、溝から掘り取った土砂(礫質土)を使用し、締固めはバケットホウのバケット部を用いて5回ずつ行いました。

盛土を締固める機械には、機械質量約7.8t、バケット容量山積0.28m³の標準バケットホウ(以下、0.28m³BH)と、機械質量約13.4t、バケット容量山積0.45m³の標準バケットホウ(以下、

0.45m³BH)を使用しました。

盛土の硬さは、簡易貫入試験により求めたNd値^(※)で評価しました。

簡易貫入試験は、図-1の地面付近まで締固めたのち、地面から深さ0.9m程度までの土層を対象として行いました。なお、簡易貫入試験の回数は、締固め条件ごとに試験位置を変えて、3回実施しました。

試験結果

過去の調査において、盛土崩壊発生箇所はNd値5未満である場合が多いことが報告されています。そこで、締固め機械ごとのNd値5以上の割合を1層の厚さ別に算出し、図-2に示しました。

1層の厚さが0.9mの場合は、Nd値が5以上の検出割合が0.28m³BHで約22%、0.45m³BHで約42%であったのに対し、1層の厚さが0.3mの場合は、0.28m³BH、0.45m³BHのどちらで締固めた場合でも、Nd値が5以上の検出割合が8割以上となりました。

おわりに

今回の試験により、機械質量の異なる0.28m³BHと0.45m³BHのどちらについても、1層の敷均し厚さ

は、0.3m程度ごとに締固めることが重要であることを再確認しました。

盛土の崩壊発生リスクを下げるためには、硬い盛土を作設することが重要です。硬い盛土を作設するために、指針で示された作設方法に基づき、安定した基盤の上に0.3m程度ごとに締固めを行うことが必要です。

※Nd値:質量5kgのハンマ(おもり)を50cmの高さから自由落下させたとき、貫入コーンを約10cm貫入させるのに要した打撃回数を求めたもの

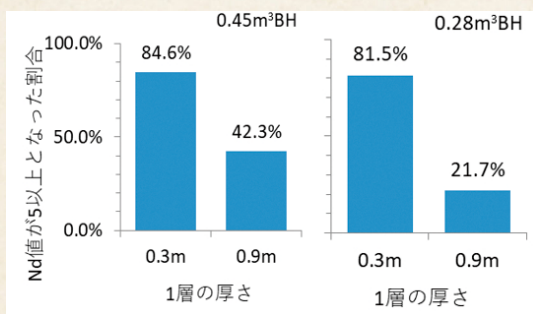


図-2 締固め機械ごとのNd値5以上の検出割合

詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-51331-2588

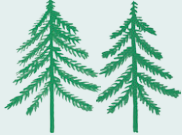
森林研究所まで



恵那地域の獣害対策について

■恵那農林事務所

林業課 林業普及指導員 河原多美子



恵那農林事務所管内は、岐阜県東南部に位置し、中津川市、恵那市の2市からなり、地域の総面積の78・7%が森林(約92,989ヘクタール)です。そのうち民有林は77・3%、71,865ヘクタール)を占め、人工林率は61・3%です。

人工林の8割をヒノキが占め、7〜12歳級の人工林が約50%、13歳級の人工林が49%を占め利用可能な森林資源が充実しつつありますが、主伐再造林はあまり進んでいません。しかし、数年前より地域のモデルとなるために市有林を主として進められています。

管内にはほぼ全域にニホンカモシカとニホンジカが生息していることから、再造林した場合、獣害対策は必須です。ただ、分布が密ではないので、防護柵を中心に対策は進められています。

管内の少ない事例の中から今年度獣害対策を見回り、気がついた点がいくつかありましたので、ご紹介します。

○防護柵

1. 事例1 ネットの食いぢぎり
地面から40〜50cmほどの位置でネットの食いぢりがありました。柵の維持管理はドローンでの見回りが効果的ですが、この位置ではドローンでは発見できず、踏査が必要となります。
森林所有者がセンサーカメラを設置しましたが、食いぢぎった獣は特定できませんでした。



防護柵 事例1

2. 事例2 ネットの下がり
森林所有者の見回りが月1回と頻度が高い事業地です。
見回り時にスカートネットを踏んでしまったのが原因?で、ネットの位置が下がった可能性も考えられます。



防護柵 事例2

3. 事例3 切株(足場を作らない)
もし何かの拍子にカモシカが柵内に入り込んでしまったら、写真の切り株は足場になりカモシカは逃げ出せるのではないのでしょうか。
柵があるのに出入り自由になる恐れがあります。



防護柵 事例3

○幼齢木保護材

1. 事例1 選定は慎重に
写真の保護材は事業体がヒノキとの相性(保護材の通気性が良い。径が大きい)が良く、設置しやすいことなどから選んだ保護材です。

しかし、カモシカ(施工前の目撃情報より推定)により破壊され、苗木を食害されてしまいました。



幼齢木保護材 事例1

2. 事例2 下刈りはほどほどに
植栽木の周辺が歩きやすいと被害に遭いやすいようです。



下草が少なく被害が多い

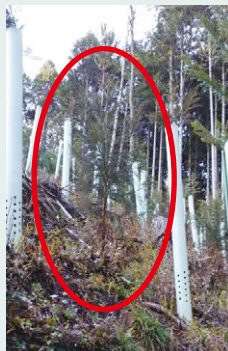
幼齢木保護材 事例2



下草が多く被害が少ない

○忌避剤

- 事例1 獣道に注意
同じ事業地で忌避剤を施工した同一樹種について、片方は2m程度の樹高に成長し、もう片方は食害に遭い0.50m程度の樹高のままです。
食害にあった植栽木は獣道上と思われる箇所に植栽されています。



忌避剤施工被害なし
事例1



忌避剤施工被害あり
忌避剤

○植栽時期

秋植えは、他に食べる植物がある春植えより苗木の食害に遭いやすい傾向にあります。

○獣害対策の選定について

立地条件が現場により異なり、植栽木により対策も変えなければならぬ獣害対策の選定の際の必要な要件をまとめてみました。

- 敵を知る
植栽地周辺の分布する獣の種類・生息密度を把握し、適切な施工方法

を検討する必要があります。

- 被害に遭いやすい条件を避ける
獣が入り込みやすい、歩きやすい状況を排除する、もしくは避けることが必要です。
- 植栽木が正常に成長するか？
保護材については、樹種により相性があるので、適切な資材を選定する必要があります。
- 資材の選定は適切か？
獣に壊されない強度があるか。風や雪に強いのか。設置・運搬・撤去が楽か。処分費がどのくらいかかるのか。検討が必要です。

○その他

- 管理
豪雨の後、積雪の後など、施設が被害に遭う可能性がある後には必ず、見回りが必要です。手間をなるべくかけないよう、ICT機器の活用も必要ですが万能ではありません。
- 有害捕獲や狩猟も併用して
食害の根本の原因である獣の数を減らすことは必須です。特に、獣害対策施工地の周辺で集中して捕獲圧をかけて獣の密度を減らすことが有効と思われる。

○最後に

今後も地域の中で情報交換をしつつ、適切に獣害対策を推進していくよう活動していきます。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL0573-26-1111

恵那農林事務所まで

森林技術開発・支援センター きのご通信

4

きくらげが熱い!?

岐阜県内では、しいたけ・なめこ・ぶなしめじといったきのこが生産されていますが、近年生産の増えているきのこがあります。「きくらげ」です。

おなじみのしいたけなどは、秋や春など冷涼な時期に発生しますが、きくらげは夏季に発生します。

このことから、しいたけ等が発生しにくい暑い季節に、きくらげを複合的に生産される方が多いようです。

*

みなさんは、きくらげをどのように召し上がりますか？お店でいただく、八宝菜やちゃんぽん麺、デザートまで頼むと杏仁豆腐に白いきくらげが入っていたりします。

ご自分で料理に使われることはありますか？これまで乾燥したものが一般的に売られていましたが、県内で生産者が増えるにつれ、道の駅などの直売所で生のきくらげが売られるようになってきました。しかし、まだ家庭ではなじみが薄いようで、生産者さんもおすすめの食べ方をつけて販売するなどの工夫をしています。教えてもらった中からいくつかご紹介します。

【きくらげの簡単料理】

●生きくらげを火が通るぐらいサツとゆで、水気を切り、食べやすい大きさにカットして生姜醤油でお

ひたし風・刺身風にいただく。

●生きくらげをひと口大にカットし、ごま油で炒め、中華風調味料や醤油でお好みに味付けし、溶き卵をくわえて炒め物に。(かまぼこを入れてもおいしいです)

●水戻しした乾燥きくらげ(生より味の浸みが良い)を、けいちゃん・キムチ鍋・すき焼きの具に。(日頃は寡黙なある生産者さんが、これが美味しいんや！と饒舌に教えてくれました)

●お好みのきのこことあわせてなめたけに。きくらげ・しいたけは干切り、他のきのこは大きさを合わせる。きのこのポリウムが茶碗一杯なら大さじ2程度を目安に三杯酢を小鍋で軽く煮立て、きのこを加えてとろみが出るまで加熱すればできあがり。



菌床ブロックを買って、自分でもきくらげを栽培してみました

●詳しい内容を知りたい方は
TEL0575-35-2535
森林文化アカデミー 技術普及係まで



樹齢百年を越える ヒノキ・ケヤキの混交林

近年、針葉樹と広葉樹の混交林は生物多様性保全や風水害・病虫害の抑制に効果があるとして混交

林への誘導を図る施策が検討されていますが、高山市一ノ宮町(旧宮村)内の国有林には百年以上前に植栽されたヒノキとケヤキで形成された希少な混交林がありますので今回紹介させていただきます。



この混交林があるのは宮国有林六一林班り小班で面積は約6ha、植栽年度は一九一〇年(明治四三

年)で林齢は今年度で一一四年生となります。



林内の現況

植栽本数は当初ヒノキが約六万本に対しケヤキは約四千本と圧倒的にヒノキの方が多く植栽されましたが、その後多くが消失(理由は不明)したとの記録があり、現在の森林調査簿では混交割合がヒノキ五一%、ケヤキ二四%、その他針葉樹六%、その

他広葉樹一九%となっているところ

です。少し前の記録となりますが、二〇一六年(平成二八年)にプロット調査による林分調査が実施され、その結果ではヒノキの平均胸高直径が三五cmで樹高は二三m、ケヤキは平均胸高直径が五〇cmで樹高が二四mとなっており、ケヤキの方が直径、樹高とも上回っています。

当署では、この小班について伐期を一五〇年とした人工林長伐期複層伐施業群に区分、森林施業モデルとしても指定しており、今後も成長量だけでなくケヤキの形質等に着目し定期的に観察を継続することとしております。



また、高山市と遊々の森「源流の森」

として協定を締結しており、自然観察等の場としても活用されています。

なお、現地は県道沿いに位置し林地傾斜も緩いことから比較的気軽にお越しいただくことができます。人工林として百年を越える混交林は珍しいと思いますので、ご興味のある方は是非その目でご覧いただければと思います。



県道沿いの林況

現地までのアクセス
JR高山駅から車で国道四一号と県道四五三号(宮清見線)を経由して約一九km、三〇分で着きます。

(飛騨森林管理署)

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
4月16日(火)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：学科 8:55~15:20 実技 15:30~16:30 ● 申 込：開催日の10日前まで ● 受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ● 定 員：30名(定員になり次第締め切ります。) 	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
4月17日(水)~ 4月19日(金)	伐木等の業務(チェーンソー) に係る特別教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：17日 学 科 8:50~17:10 18日 学・実 8:50~12:00 19日 実 技 8:30~17:40 ● 申 込：開催日の10日前まで ● 受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ● 定 員：30名(定員になり次第締め切ります。) 	17日(学科) 18日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 19日(実技) (株)木の国 土場(山県市椎倉 203-1) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
4月23日(火)~ 4月26日(金)	フォークリフト運転技能講習 受講資格 自動車普通運転免許所持者	<ul style="list-style-type: none"> ● 講習時間：1日目 学 科 8:45~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目：実 技・試 験 8:00~17:30 ● 申 込：開催日の20日前まで ● 受講料：32,450円(本代含む)(振込み) ● 定 員：20名(定員になり次第締め切ります。) 	(学科) 伊自良中央公民館(山県市大門 850-67) (実技) ぎふ農協旧伊自良共選場(山県市洞田 127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



昨年12月、「黒トリュフの人工発生に成功!」の記事をマスコミに大きく取り上げて頂きました。

10月に黒トリュフがコナラを植栽した試験地に発生したのです。コナラは7年ほど前に植栽した場所なので、まさかトリュフが生えているとは思いませんでした。コナラの根元に生えているトリュフをたまたま見つけて、超ビックリしたのを覚えています。

それからは、試験地がイノシシに掘り返されないようになど色々気を使いながら、発表の作業を進めました。ただ、発生したトリュフが接種した菌由来であることを確認するのに時間がかかり、結局発表までに約1ヶ月半を要してしまいました。マスコミ発表の反響は想像以上に大きく、既に問い合わせや原稿依頼などの連絡をたくさん頂いており、しばらくは忙しい日々が続きそうです。

「森林のたより」編集委員 水谷 和人

イベント情報

4月1日発行

連載

- 山の歳時記(224)
- 山のおじゃまむし(393)

地域の人

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(135)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(133)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

4月号
予定

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所 単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配	
第1845回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	14,600	—	→	
		4 m	16~18cm	14,000	—	→	
			20~22cm	15,000	—	→	
			24~28cm	15,000	—	→	
			30cm以上	13,000	17,600	→	
	6 m	16~18cm	18,000	—	→		
	2月6日	ひのき	3 m	16~18cm	21,100	—	→
			20cm以上	19,000	—	→	
		4 m	16~22cm	21,000	—	→	
			24~28cm	19,200	—	→	
30cm以上			18,900	46,000	→		
6 m	16~18cm	—	—	→			
第1435回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,500	—	→	
		4 m	24~28cm	14,800	—	→	
			30cm以上	12,000	—	→	
	ひのき	3 m	16~18cm	21,000	—	→	
		4 m	20~22cm	20,300	—	→	
			24~28cm	19,100	—	→	
			30cm以上	19,000	41,500	→	
		6 m	16~20cm	25,000	—	→	
	2月14日	ひめこ	4 m	24~28cm	18,000	20,000	→
			30cm以上	20,000	44,400	→	
5 m		30cm以上	—	—	→		
くり		4 m	24cm以上	15,000	—	↗	
第1769回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	13,000	—	→	
		4 m	24~28cm	13,000	—	→	
			30cm以上元	15,000	—	→	
	ひのき	3 m	16~22cm	20,500	33,000	→	
			24~28cm	19,000	—	→	
			30cm以上元	25,000	—	→	
		4 m	13cm以下	10,000	—	→	
			24~28cm	19,800	31,000	→	
			30cm以上元	26,000	—	→	
	2月8日	まつ	4 m	22~28cm梁	—	—	→
30cm以上元			11,000	—	→		

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

スギ4mの元木、尺上良材は、入札旺盛にて引き合いは強く価格は保合。スギラミナ向け3m・4m材は保合。ヒノキ元木、尺上良材3m・4m役物取りも入札旺盛で引き合いは強く価格は保合で推移。ヒノキ3m・4m構造材も価格は保合で推移。合板向けは、製品荷動きが鈍く弱基調で引き続き原木受け入れ調整が継続している。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

スギ、ヒノキ並材は横ばいで推移。ヒメコは買気旺盛で特に2m・4m(40cm以上)は引き合いが強い。広葉樹は出材量が少なく全体的に引き合いが強く、特にナラは2m(28cm以上)に人気が集まり活発。高値はヒノキ4m×52cm@41,500円、ヒメコ4m×44cm@44,400円、ヒメコ2m×52cm@51,200円、クリ2.1m×40cm@40,600円、ナラ2.2m×32cm@47,000円、ホウ2.1m×44cm@37,300円。(飛騨)

ヒノキ役物良材は応札多数で活気。3m柱向け(14cm~26cm)は手堅い売れ行きで保合。4m中目、土台向けは引き合いは強く応札多数、強保合。ヒノキ(46cm以上)大径材は、5m・6m造材の需要も強く、出材を予定される方は一報ください。スギ中目、尺上元木良材は、寒切り材を積極的に手当てする動きが続いており買い気上向き、価格は保合で推移。4m(24cm以上)の構造材は復調気配、3m構造材向けは保合で推移。スギ6m長柱向け(18cm~22cm)は各方面からの強い要望があり造材をご検討下さい。合板向けは原木受入調整を継続している。ラミナ向けは活発な動きあり。(東濃)

製品卸売標準価格 (1月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	75,000	(2,481)	→
	間柱	3000	105	30	1等	75,000	(709)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	85,000	(3,749)	→
	柱	3000	120	120	特等	78,000	(3,370)	→
6000		120	120	特等	150,000	(12,960)	→	
W集 ウッ ド材	柱	3000	105	105	国産5層	91,000	(3,000)	→
		3000	120	120	国産5層	98,000	(4,200)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (1月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	396	→
	コースト(目荒)	435	→
米栴	へム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

もちあい 保合

市況を表す用語の一つで、相場がほとんど動かないか、動いてもごく小幅な小康状態を指す。多少とも上がる傾向を示せば強含み、反対に下がる傾向なら弱含み。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典